

## ニュースヘッドライン

---

A (朝日)、M (毎日)、Y (読売)、N (日経)、サ (産経)、H (赤旗) の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

### 5.21 被災状況 (警察庁まとめ 5.22A、Y)

死 亡 1万5,170人 (宮城9,064、岩手4,468、福島1,574···)  
行方不明 8,857人 (宮城5,359、岩手2,984、福島510···)  
避難者 10万9,561人 (岩手3万1,337、宮城3万647、福島2万4,172···)  
避難所 2,437カ所 (宮城404、岩手342、福島124、その他1,603)

### ☆日中韓首脳会談—原爆温存連合への思惑がらみか

●日中韓三国首脳、福島市内避難所視察

●震災倒産102社 (負債総額約602億円) —帝国データバンク調査—直接被害倒産13社、取引先被災で倒産89社／地域別—東京15社、岩手・宮城・福島3県計20社／業種別—「旅館・ホテル」13社、自動車関連企業10社 (5.22A)

→5.22A「原発爆発後大量汚染を想定—米軍、全面支援リスト」「支援リスト、米の危機感」「3首脳まず被災地—執念のそろい踏み、安全訴えたい日本—自主的訪問こだわり、関係改善図る中国—調整遅れに苛立ち、痛み共存する韓国」「原発是非欧州二分—ドイツ、脱却は国民的な合意—フランス、大統領は推進に固執」

M「地元任せ、被災者疲弊、福島原発区域指定1ヵ月—『警戒』、一時帰宅実施わずか99世帯／『計画的避難』、今月中の完了困難に／『緊急時避難準備』、国の支援乏しく」「3首脳福島入り、曲折へて菅首相『執念』—政府『風評被害吹っ飛ぶ』、中韓『お見舞い』と決断—被災主婦、感激で涙」

Y「義援金支給3割、被災3県—戸籍流出、職員被災、宮城わずか5%」「人手不足届かぬ義援金、『貯金が底つく』被災者悲鳴—家屋被害調査にも時間」「統一選敗北執行部に批判、民主全国幹事長会議—岡田幹事長、辞任否定—地方組織『菅降ろし』に反発も」

N「検証、総力戦で工場再開—東北手探りの復興、現場からの報告—農漁業再生、一歩ずつ—仙台、徐々に活気、『三大夏祭り』は予定通り—原発事故、苦しむ福島、風評被害収まらず」

T「メンツ争いの放水—大量放水、当面の危機は回避—3月17日午後7時5分～19日午前0

時 30 分」 「保険金支払い 2.6 兆円—生損保や共済、過去最大の見通し—東日本大震災」 「世界原発不信、福島事故の今海外報道—日本は『検証遅い』『情報開示を』」 「メルトダウン『常識です』!?!—『御用が業者』の本音と建前」

H 「科学者の知恵の結集こそ、立命館大名誉教授・安斉育郎さんに聞く—原発依存大転換のとき」

#### →5.22 各紙社説

A 「北欧が示す未来図—自然エネルギー社会へ」

M 「震災と日中韓—融和から協力深化へ」

Y 「オバマ中東演説—和平へ導く具体策がほしい」 / 「IMF 専務理事—欧州の『指定席』見直すべきだ」

N 「TPP 先送り『平成の開国』の看板が泣く」 / 「中東外交転換めざす米大統領」

T 「20 年後を想う危機感—週のはじめに考える」

H 「沖縄新基地計画—『基地なくせ』の願いに応えよ」

#### 5.22 被災状況（警察庁まとめ 5.23Y）

死者 1 万 5,179 人

行方不明 8,803 人

避難者 10 万 9,008 人

避難所 2,465 カ所

#### 5.22 日中韓三国首脳会談、首脳宣言

##### <首脳宣言のポイント> (5.23M)

- ① 東日本大震災に深い哀悼の意を表明
- ② 困難な状況を乗り越えようとする日本の努力を支える
- ③ 福島第 1 原発事故を受けた日本製品の安全性に関しては科学的証拠に基づき慎重に対応
- ④ 日中韓 F T A は日本の国内事情を考慮しつつ検討
- ⑤ 原子力エネルギーは多くの国にとって重要な選択肢
- ⑥ 原発の自然災害対応で専門家協議を推進
- ⑦ 大規模災害では相互に最大限の支援
- ⑧ 北朝鮮のウラン濃縮計画に懸念を表明

5.22 普天間移設「現行計画で」—米キャンベル国務次官補、防衛省・防衛相高官と会談（東京）—会談後の記者会見「日本の外務省、防衛相、首相官邸との協議で現行計画を推進することを明確にした」（5.23Y）

#### ☆22 年までに脱原発のドイツに学ぶべきだ

→5.23M 「風評被害防止へ協力、日中韓首脳会談—原子力安全推進も—中国輸入規制緩和を表明」 『炉心 3 時間半で大半溶融、福島 1 号機—米専門家、3 月下旬に推定』

- Y 「原発避難 23 校『休業』—移転先確保できず、児童・生徒 5,000 人散り散り」「独『22 年までに脱原発』—首相、目標時期に言及、与党内『隣国頼り』批判」
- H 「原発事故—問われる政党の立場、どうする国民の命と未来—政権・民主、『反省』するも脱却できず—自民、自民・公明、責任に口つぐみ開き直り」

#### →5.23 各紙社説

- A 「中日韓協力—震災での絆を土台に」／「青森知事選—原発論議を深めよう」
- M 「ハーグ条約加盟—子供の利益を前提に」／「技量審査場所—力士の『心』の鍛錬を」
- N 「震災協力を機に中韓と共助の関係を」／「主婦の年金救済は公平貫け」
- T 「隣人の支えを糧に—東日本大震災と日中韓」
- H 「『君が代』強制条例—民主主義と教育の条理に逆行」

#### 5.23 被災状況（警察庁まとめ 5.24A）

死 者 1 万 5,188 人  
 行方不明 8742 人  
 避難者 10 万 8,672 人

#### 5.23 国家公務員給与「減額」—政府と連合系労組が合意—一般職給与を 2013 年度まで 5～10%減額すること（5.24M）

→5.25H 「国家公務員人件費で割減、地方、民間 626 万人に影響—賃金減 7 兆円・消費減 5.2 兆円—復興にマイナス、労働総研試算」

→5.23A 夕 「仮設校舎着工 7 校分のみ、被災 3 県—街の将来未定・土地不足」「汚染水移送先満杯寸前—2・3号機、たまり水対策難航」

M 夕 「また放射線悔しい—広島で被爆、福島 of 81 歳—特養入所、避難できず」「特集ワイド・『原子力村』の司令塔的専門家集団—口を出しても執行権限なし、旗を振らない安全委—規制官庁との二重チェック機能しないまま 3.11—『決定尊重』の条文削られ、保安院との総合検討も」

Y 夕 「首相『注水止めていない』—衆院復興特別委、東電から報告なし」「警戒区域内 18 人残る—『母の移動ムリ』『家畜置いては』—指定 1 ヶ月、非難説得にも拒否」

T 夕 「脱原発唱える元技術者、『正しく恐れ行動すべき』—福島、浜岡設計を担当、思い上がり反省」

→5.24A 「210 避難所土砂災害の恐れ、国交省調査—びひ割れ 25 ヶ所」「発言訂正記憶頼り—海水『再臨界危険性』→『ゼロではない』、斑目氏発言めぐり混乱—自民、国会で追及」

M 「ドイツ、緑の党また躍進—ブレーメン州第 2 党、『福島事故が影響』」「安全頼りは線量計—福島市放射線恐れ外で遊ぶ子供の姿消え、無料貸し出し父母殺到」

Y 「『宮城応援職員』を長期派遣—18 都県 100 人、施設復旧に従事」「3 月期特損—1,221 社 5.9 兆円」（東証 1 部上場企業、5.20 まで決算発表の 1267 社を対象に集計—SMB C 日興

証券のまとめ)

- N 「『報復』テロ連鎖拡大、南アジアに波乱の芽—タリバン、パキスタン基地襲撃」
- T 「校庭線量上限撤回を—『20 ミリシーベルト高い』福島のパロディ直談判—大臣面会せず、文科省『1 ミリシーベルトに努力』」
- H 「宮城県医師会被災状況調査—全・半壊 186、いまだ 35 機関で診療できず…、子の地で再出発したい—民間医療再建に公的支えを、補助 2 分の 1 では困難」

#### →5. 24 各紙社説

- A 「原発事故調査—第三者機関で解明を」／「水産特区構想—新たな漁業のモデルに」
- M 「海水注入問題—原発に政局持ち込むな」
- Y 「放射能汚染—綿密な健康調査で不安を拭え」／「みずほ再編—改革加速し信頼回復を図れ」
- N 「サミットを日本の信頼回復の好機に」／「みずほは改革の速度上げよ」
- T 「菅内閣要職発言—『言っていない』に辟易だ」／「専業主婦年金—これで公平性保てるか」
- H 「被災者支援—住民の希望支える万全の策を」

#### ☆布川事件再審無罪判決と福島原発情報隠しと

- 5. 24 布川事件再審無罪—水戸地裁土浦支部（神田大助裁判長）、強盗殺人で無期確定・服役の元被告・桜井昌司氏（64）と杉山卓男氏（62）に対し無罪判決—1967. 8. 事件発生から 44 年（5. 24 各紙夕刊）
- 5. 24 東電、「2, 3 号機メルトダウン」の暫定分析結果を発表—地震後 60~100 時間後に 1 号機と同じように炉心溶融起こした可能性ありと発表（5. 24A 夕）—報告書全体像 5. 24N）
  - 5. 24M 夕「2、3 号機も大半溶融、福島第 1 原発—東電分析『容器損傷限定的』—甘い推定、専門家批判」／Y 夕「炉心溶融早い段階で、東電報告書—1 号機、地震 15 時間後燃料崩壊—2 号機、海水注入でも空だき状態—3 号機、注水停止—一気に悪化」
- 5. 24 大卒就職率、最低 91%—文科省、厚労省発表、今春卒業の大学生の就職率 91. 1%、1997 年以降で最低—「就職氷河期」の 00 年に並ぶ（被災 3 県含まず）（5. 24A 夕）
  - 5. 24M 夕「大学就職率過去最低タイ—被災地悲鳴『就活なんて』、他地域にも震災の影」
- 5. 24 被災状況（警察庁まとめ 5. 25A）
  - 死 亡 1 万 5, 202 人
  - 行方不明 8, 718 人
  - 避難者 10 万 9, 394 人
  - 5. 25A 「原子力村は伏魔殿—神話の影に、福島原発 40 年①」「産・政・官・学…広大な『村』—発送電分離の動き阻止」「原発耐震検証が必要—配管破損原因分析を—遅い認定、東電も国も、『メルトダウン』『事故レベル 7』」「44 年待った無罪—布川事件再審、自白の信用性否定—強要、誘導の可能性を指摘—『だんだん体軽く』『力抜けちゃった』」「捜査改革半ば—『全過程可視化を』日弁連会長会見」

M「全面可視化改めて課題、布川事件再審無罪—『編集テープ』決め手に—検察冷静『影響ない』、録音・録画進む導入」「念願かなった—誤審原因判決触れず—桜井さん・杉山さん、怒りあらわに」

→5.25Mタ「被ばく検査 20 万人に、4 月以降全員『異常なし』—『福島から来たというといやがられるのでは…』」「貿易赤字 4,637 億円、4 月統計—震災で輸出大幅減」「海水注入事前に通告、東電—水素爆発の 16 分前」「初の全面可視化—東京地検、特別背任事件取り調べ」

Yタ「原発から 23 キロでも警戒区域—境界、地区単位で設定—福島・ ー など、住民に不満」

Aタ「野生動物でも被曝量調査—福島県 10 年計画—『人間の未来占う』」

#### →5.25 各紙社説

A「公務員給与—『身を削る』を評価する」／「布川事件再審無罪—検察に改めて問う正義」

M「校庭の放射線量、できるだけリスク減を」／「布川事件再審—速やかに無罪確定を」

Y「原発事故調査—『大失敗』の原因を究明せよ」／「布川事件再審—冤罪生んだ恣意的な証拠開示」

N「原発事故の早急な解明は世界への責務」／「冤罪を生んだ刑事司法の罪」

T「原発事故調査—世界に事実を知らせよ」／「布川事件無罪—司法全体に猛省がいる」

H「布川事件再審無罪判決—『司法の犯罪』を繰り返すな」

### ☆大阪橋下知事流の異常—君が代条例案の上程強行

5.25 大阪府議会、君が代条例案提出—大阪府橋下徹知事与党『大阪維新の会』府議団、教員に君が代の起立斉唱を義務づける全国初の条例案提出 (5.26A)

→5.26A「狙いは起立厳格化—橋下氏主導、君が代条例案提出、『思想でなく組織の問題—免職ルール化へ』」「教員の不起立全国で激減—教育現場『なぜ今さら』」

5.25 スイス政府、脱原発宣言—国内 5 基の原発の寿命を迎える 2034 年までに廃炉とし、改修や新規建設しないとの国家目標決める (5.26A)

→5.26A「原発、EU—斉検証へ—災害・テロ、統一検査項目—範囲めぐり各国綱引き」

#### 5.25 被災状況 (警察庁まとめ 5.26Y)

死者 1 万 5,217 人

行方不明 8,666 人

避難者 10 万 3021 人

避難所 2,439 ヲ所

→5.26A「『原発反対』各国で拡大—7 ヲ国世論調査、日独中韓は大幅増—日本 (賛 34%、反 42%)、米国 (賛 55%、反 31%)、フランス (賛 51%、反 44%)、ロシア (賛 36%、反 52%)、韓国 (賛 44%、反 45%)、ドイツ (賛 19%、反 81%)、中国 (賛 51%、反 48%)」

→5.26M「虚偽証言強要の疑い、さいたま県警—買収事件 19 人に、接待『無料で』と調書—深

谷市議選・選挙違反」『うそ言えば帰れる』埼玉県警証言強要の疑い—『逮捕されるかと』住民、連日厳しい聴取」→5.26M夕「虚偽証言強要疑惑—会費払い確認メモ、参加者ら『書いた』』

→5.26N「巨大地震『400～600年おき』—東海・東南海・南海3連動級—海岸の化石調査し判明、産総研など」／T「2000年前高知で巨大津波—堆積物を発見、M9クラスか」

→5.26Y「海のがれき漁師苦悩—冷蔵庫、流木・網が破損、除去に数ヶ月以上」「給食まだ戻らず、被災8市町—『パンと牛乳』栄養不足心配、『すぐお腹すく』」／Y夕「1,000万個に太陽光パネル—OECFで菅首相演説、原発教訓に伝達『責務』—サミット今夜開幕」

→5.26A夕「連合、原発推進を凍結—エネルギー政策見直し」

#### →5.26 各紙社説

A「原発・東電調査—もっと権限を与えよ」／「大阪起立条例—あの一票は何だった」

M「原発事故調設置—独立性確保し解明を」／「年金改革—現実的な案に絞っては」

Y「東北の水産業—大胆な改革で沿岸漁業再生を」／「大卒就職難—やりがいのある仕事を探そう」

N「電力需給の『見えるか』で効率的な節電を」／「原発避難者の健康調査急げ」

T『大卒就職率最低—抽象企業にも夢がある』／「オバマ中東外交—際立つ米国のジレンマ」

H「IMF専務理事ポスト—世界の変化を踏まえた改革を」

5.26 海水注入、「実は継続」—東電、一時中断してきたと説明してきた福島第1原発1号機の海水注入を実際には中断せず継続していたと発表—第1原発吉田昌郎所長の判断で(5.27A)

→5.27M「東電注水『中断なかった』福島第1原発—所長独断、報告せず—政府情報管理に疑問」「東電説明謎多く—所長『冷却が最優先だった』、本店『官邸の空気を讀んだ』」／Y「『東電信用できない』注水中断訂正—被災者ら怒りの声、政府にも厳しいまま批判」

5.26 G8(主要国首脳会議)、仏北部ドービルで開催—1AEA強化、原発、情報対策で一致(5.27A)

→5.27N「G8、日本に厳しい視線—原発、情報開示に不満—震災復興支援では協力」

#### 5.26 被災状況(警察庁まとめ 5.27Y)

死者 1万5,234人

行方不明 8,616人

避難者 10万2,484人

避難者 2,439カ所

→5.27Y「『海水注入』二転三転—政府『東電任せ』原因、国際社会の不信拍車も—『海水注入』客観データなし」

→5.27H「原発以上に未熟で危険—青森・六カ所村再処理工場—放射能を大量に放出、臨界・爆発事故多発、核燃料を大量に貯蔵—直下でM8級地震も」「がれき処理、自治体不安—『財政は国が全責任を』—宮城・石巻市では100年分」

→5.27 各紙社説

- A 「新エネ目標—太陽と風で挑戦しよう」／「天然ガス協力—脱・原発依存に生かせ」
- M 「エネルギー目標—国民合意形成に全力を」／「世界記憶遺産—歴史の重さ示す炭坑画」
- Y 「新エネルギー策—安全性高めて原発利用続けよ」／「刑事司法改革—時代に合う捜査方法の検討を」
- N 「これで原発情報への不信がまた募る」／「自然エネルギー拡大の条件」
- T 「自然エネ 20%—目標倒れは許されない」／「警察の調査—またも捜査に疑惑が」
- サ 「『4つの挑戦—実現の具体性欠け無責任』」／「電力使用制限—実態に即し柔軟な対応を」
- H 「農業委員選挙—再生の担い手を増やす機会に」